

Photo Gallery
～月刊みやしろ～



作品はこちら▶

多様性にちょっとした優しさを
ドキュメンタリーが全国へ

宮代高校放送部が第71回NHK杯全国高校放送コンテストのテレビドキュメンタリー部門で埼玉県代表としての出場を町長に報告しました。
✎ 広報みやしろ



同じ悲しみを繰り返さない
ヒロシマ・ナガサキ原爆写真展

町図書館で7月19日から8月10日まで原爆に関する写真や当時の資料の展示、戦争・平和に関する絵本の読み聞かせを行いました。来場者からは「平和に慣れ、忘れがちなことに気付かされた」といった声が聞かれました。戦争の悲惨さ、恐ろしさを次世代へ伝え、平和の尊さを改めて考える機会となりました。
✎ 総務課



「いざ」というときに備えて
宝くじ助成金で備蓄品整備

切戸地区自主防災会は、(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として宝くじの受託事業収入を財源に実施しているコミュニティ助成事業を活用し、蓄電池やAEDなどの防災備蓄品を整備しました。地区防災訓練では、備蓄品を活用した訓練が予定され、共助の力を養います。
✎ 町民生活課



みやしろ健康マイレージ▶

誰もが気軽にウォーキングで健康づくり
5年連続優秀賞を受賞

健康長寿優秀市町村表彰式が8月6日に行われ、宮代町は「みやしろ健康マイレージ」の取組で優秀賞を受賞しました。この事業は、ウォーキングによる健康づくりを推進するため実施しているもので、昨年度は4,000人以上の方が参加しました。今後も町民の皆さんの取組をサポートしていきます。
✎ 健康介護課



雷雨なんて吹き飛んだ!
第41回宮代町民まつりを開催

第41回宮代町民まつりが8月24日、25日に開催されました。2日間を通じて約14,000人の来場があり大盛況のうちに幕を閉じました。昼の部、夜の部の2部構成で開催され、昼の部では、こどもから大人まで楽しめるイベントブースや飲食ブース、ハナレんジャーショーなど、様々なイベントが行われました。天候が心配さ



れる場面もありましたが、1日目の流し踊り、2日目のみこし・山車の巡行をはじめとするすべてを、開催することができました。暑い中、多くの町民まつり実行委員やボランティアにご協力いただき、宮代の夏は大いに盛り上がりました。
✎ 町民生活課

みやしろ文芸

玉響に稲穂も揺れて心涼し 秋めくや蜂の亡きながら蟻運び 一粒が価千金今年米 みやしろい落ち穂しらさぎ百小球児 もらったなし人生はつのまるごとがぶり 秋彼岸動画に残る友偲ぶ 久に逢ふ孫の成長竹の如 両の手で握るどんぐり子の宝 新米の売り場賑わう道の駅 名月が二人を照らし影落とす 暑い日々皆で気配り健康を かなかなや夕暮庭に風わたる あと四年ロスアンゼルスで五輪かな それまで生きて応援したい 生きることの諸行無常を識ることなり 一片の無声の詩とぞ どうしてあの時悔やんでも 悔やみきれない時間が巻きもどせたら 果てしなき懐める酒歌深夜便 思いに心涙の雨に せみの声二度も聞かず」に気づきたり 盆を過ぎたる処暑の夕方 「秋刀魚の味」恩師見つむる子らの顔 哀れび映り味わひ深し 履きなれたスニーカー履いて畦道を ひとり歩けばトンボ飛び交う この夏の高校野球甲子園 初の栄冠京都国際 ガラス越し母の笑顔にすくわれる 触れられぬ手のさみしき秋よ 屋久島の三千年の弥生杉 台風ニュースに倒れし姿 この夏はやたら新造語が飛び交った 災害級の気温雨風 雷様より激しく音立てて 空心菜を炒めて居りぬ 名月を賞めるは独りペランダで 盃傾けりや小唄自づと	村田信明 渡辺進 村田陽宣 古山陽一 古山緑 森本君江 森山恒子 武藤芳夫 横手敏夫 浅倉孝郎 上野孝治 原崇雄 高橋千代 濱島宗雄 宇津木さえ 矢島忠愛 島村貞子 富澤鎮男 佐藤よし江 濱田恒雄 加藤まり子 納谷千代 新井景次郎 金子輝男 岡本信吾
--	---

▼俳句、短歌等の投稿は、住所・氏名・電話番号を記入し、〒345・8504 宮代町役場「広報みやしろ」まで。漢字には必ずふりがなをつけてください。
連絡先や名前がなく俳句、短歌等の内容が確認できない場合は、掲載できません。11月号への掲載は10月10日(木)まで。楷書での記入をお願いします。
▼紙面に限りがあるため、投稿者多数の場合、広報紙掲載は抽選となります。投稿いただいた全作品は、町ホームページでご覧いただけます。(記事ID 21393)

